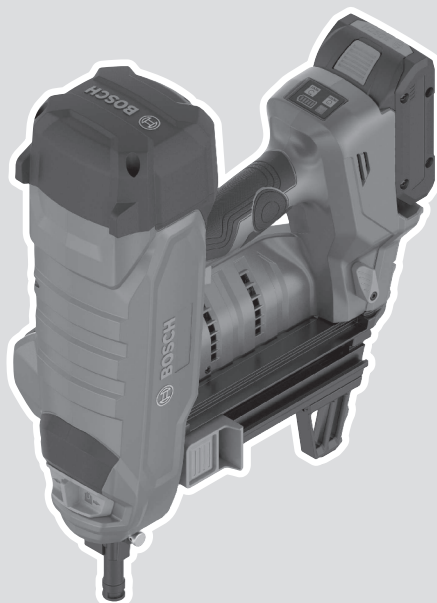




GNB 18V-38



取扱説明書

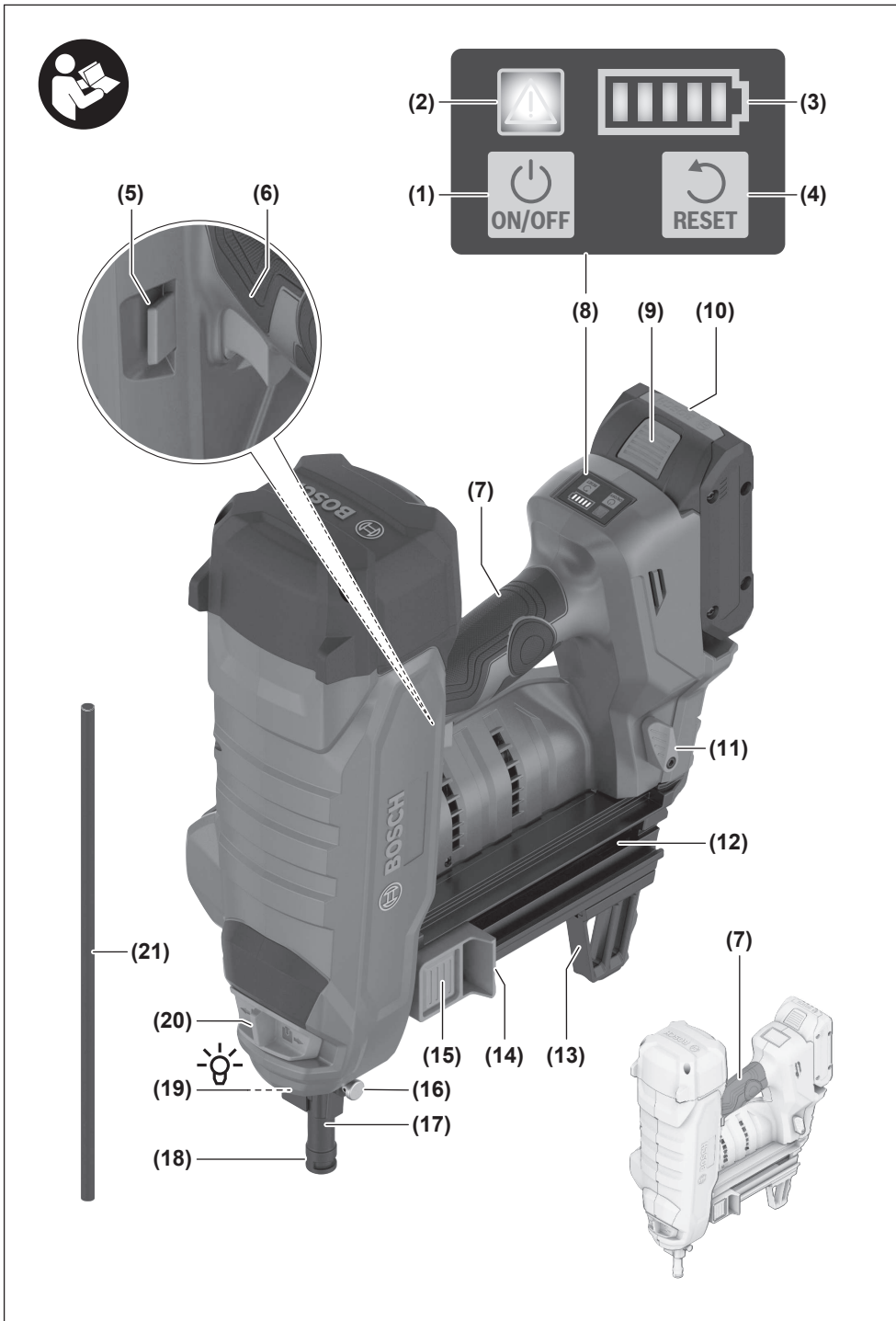
このたびは、弊社コードレスコンクリート釘打機をお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

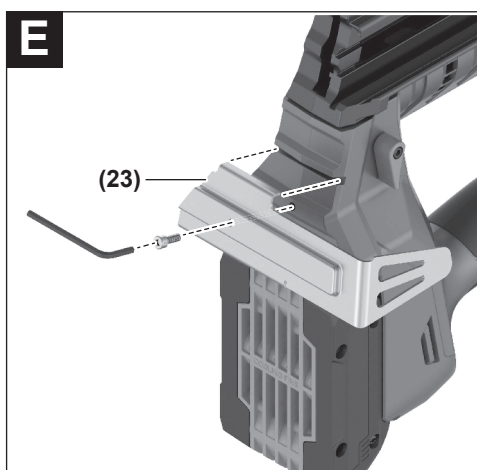
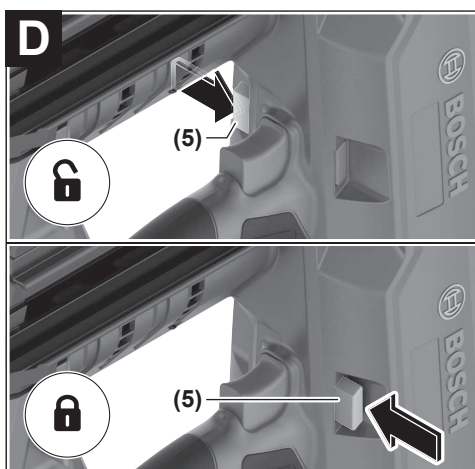
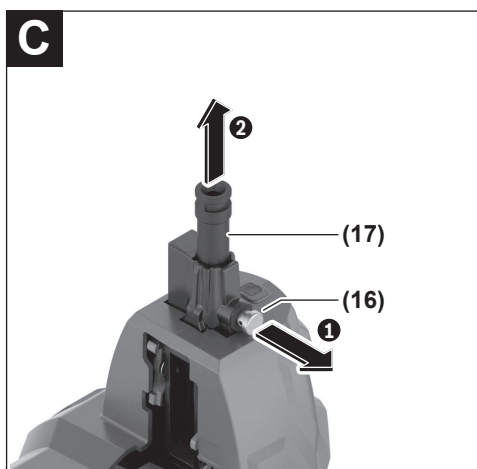
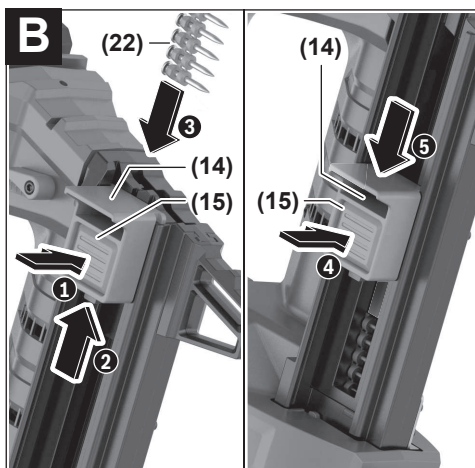
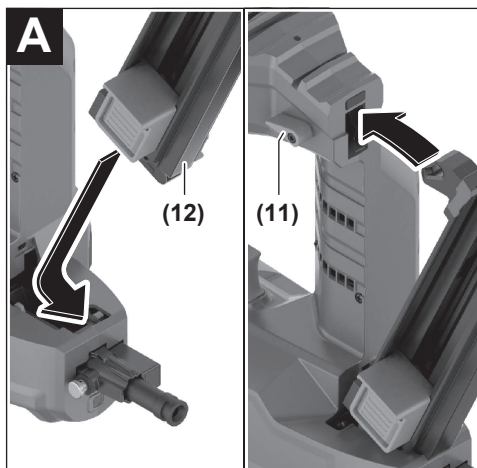
- ご使用になる前に、この『取扱説明書』をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、この『取扱説明書』を大切に保管してください。わからないことが起きたときは、必ず読み返してください。
- 充電については、『充電器の取扱説明書』を併せてお読みください。



目次

用途	5
記号について	5
警告表示の区分	6
安全規則.....	6
一般安全規則	6
安全上のご注意	8
コードレス電動工具全般についての注意事項.....	8
コンクリート釘打機についての注意事項	11
本製品について	12
各部の名称	12
標準付属品	12
仕様	13
使い方	13
バッテリーを準備する	13
作業前の準備をする	14
作業する	15
バッテリーを長持ちさせるために	19
リサイクルのために	19
使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください.....	19
お手入れと保管	20
クリーニング	20
保管	20
廃棄について	20
困ったときは.....	20
故障かな?と思ったら	20
修理を依頼するときは	21
保証サービスについて	22





用途

- ◆ コンクリートや鋼材などの硬質材料へのネイルでの留め付け作業
- ☞ 非常に柔らかい表面 (木材、軽量建築材料など) や非常に硬い表面 (高張力鋼など) では使用しないでください。
- ☞ 次のような材料でも使用しないでください。
天然石、モルタル縦目地、中空ブロック、レンガ、施釉レンガ、ガラス、焼き入れ鋼、工具鋼、ばね鋼、鋳鉄、溶接継ぎ目
- ☞ 使用前に材料の適合性を確認してください。(14ページの「ネイルを選ぶ」を参照)
- ☞ この電動工具は手持ちでの使用のみを目的としています。
- ☞ この電動工具は屋内での使用のみを目的としています。

記号について

警告銘板、電動工具、取扱説明書には下記の記号が表示されています。
記号の意味を十分理解して電動工具を使用してください。
記号の正しい解釈は、商品をより安全な方法で使用するために役立ちます。

	注意してください
	けがのリスクを軽減するために取扱説明書をお読みください
	ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください
	ビニール袋は窒息の危険があります この袋は赤ちゃんや子どもから遠ざけてください
	リサイクル識別表示マーク (リチウムイオンバッテリー)
	リサイクル識別表示マーク (紙製容器包装)
	リサイクル識別表示マーク (プラスチック製容器包装)

	直流
	欧州の基準適合表示
	欧州で使用するWEEE指令の適合表示
	英国の基準適合表示
	オーストラリア・ニュージーランドの基準適合表示
	ウクライナ自己宣言マーク
	韓国の国家統合認証表示
	作業中は、保護めがねを着用してください
	作業中は、防音保護具を着用してください
	移動方向
	許可される行為
	禁止行為
	ロック解除
	ロック

警告表示の区分

ご使用上の注意事項は、**危険**、**警告**、**注意**に区分していますが、それぞれ次の意味を表わします。

△危険

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が大きい内容の注意。

△警告

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容の注意。

△注意

- ◆ 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容の注意。

なお、**注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

安全規則

一般安全規則

△警告

取扱説明書の内容すべてをよくお読みください。

下記に記載した指示に従わなかった場合は、感電、火災、重傷を招く恐れがあります。

下記に記載したすべての警告における“電動工具”という用語は、電源式（コード付き）電動工具または、電池式（コードレス）電動工具を示します。

次の事項を順守してください。

a) 作業場

- 1) 作業場は整理整頓し、十分な照明を保ってください。散らかった暗い場所は、事故の原因になります。
- 2) 爆発を引き起こす恐れのある可燃性液体、ガスまたは粉じんがある場所では、電動工具を使用しないでください。
電動工具は、粉じんまたはヒュームを発火

させる恐れがある火花を発生する場合があります。

- 3) 電動工具の使用中は、子供および第三者を近づけないでください。注意が散漫になり、操作に集中できなくなることがあります。

b) 電気的安全性

- 1) 電動工具の電源プラグは、電源コンセントに合ったものを使用してください。電源プラグの改造は、絶対に行わないでください。アダプタプラグを接地した電動工具と一緒に使用しないでください。
改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電する危険が低減されます。
- 2) パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫など、接地処理された媒体と身体が接触するのを避けてください。
身体が接触すると、感電する危険が増大します。

屋外で使用する際には、3)～5)の注意が必要です。

- 3) 電動工具、バッテリーは、雨ざらしにしたり、湿気のある状態にさらしたりしないでください。水が入ると、感電する危険が増大します。

- ◆ バッテリーが発煙、発火、破裂する恐れがあります。

- 4) 電源コードは乱暴に扱わないでください。コードを使って電動工具を運んだり、コードを引っ張ったり、コードを引っ張って電源コンセントから抜いたりしないでください。また、コードを熱、油、角のとがった場所、また可動部に近づけないでください。コードが損傷したりもつれたりしていると、感電する危険が増大します。

- ◆ コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように充電する場所に注意してください。

- ◆ コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理を依頼してください。
お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。

- 5) 電動工具を屋外で使用するときは、屋外使用に合った延長コードを使用してください。屋外使用に合った延長コードを使用すれば、感電する危険が低減されます。

- ◆ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

c) 人的安全性

- 1) 電動工具の使用中は、油断せず、いま自分が何をしているかに注意し、常識を働かせてください。疲労していたり、薬・アルコールを服用していたりするときには、電動工具を使用しないでください。電動工具使用中に一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。
 - ◆ 電動工具を使用する場合は、取り扱い方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 2) 安全保護具を着用してください。常に保護めがねを着用してください。防じんマスク、滑り止め付き安全靴、ヘルメット、耳栓などの安全保護具を適切に着用することで、傷害事故が低減されます。
 - ◆ 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。騒音にさらされると、難聴の原因となります。
- 3) 意図せず作動開始しないよう、気をつけてください。電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、必ずスイッチが“切”になっていることを確認してください。指をスイッチに掛けて電動工具を運んだり、スイッチが“入”になっている状態で電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込むと、事故の原因になります。
 - ◆ 回転している先端工具が思いがけず身体に当たると、衣服に引っ掛かり、身体が引き込まれる恐れがあります。
- 4) 電動工具の電源を入れる前に、調節キーやレンチなどは、必ず取り外してください。電動工具の回転部に調節キーやレンチを付けたままにしておく、人的傷害の原因になります。
- 5) 無理な姿勢で作業をしないでください。常に足元をしっかりとせ、バランスを保つようにしてください。これにより、予期せぬ状況でも電動工具をより適切に操作することができます。
- 6) きちんとした服装で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は着用しないでください。髪、衣服、手袋を、電動工具の回転部に近づけないでください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの

装身具、長髪は、回転部に巻き込まれる恐れがあります。

- ◆ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

- ◆ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

- 7) 集じん装置が接続できるものは、適切に使用されていることを確認してください。集じん機などを使用することで、粉じんに関係する危険を低減することができます。

- ◆ 作業中に発生する粉じんは、健康を害します。

d) 電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具を、無理に使用しないでください。目的に合った電動工具を使用してください。より適切、安全に作業ができます。
 - ◆ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
 - ◆ モーターがロックするような無理な使い方はしないでください。
 - ◆ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
 - ◆ 指定された用途以外に使用しないでください。
- 2) スイッチで始動、および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。スイッチで制御できない電動工具は危険です。修理を依頼してください。
- 3) 調整・付属品の交換・保管をするときは、必ず電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具からバッテリーを取り外してください。このような予防的 seguridad 手段により、不意の作動によるけがの発生が軽減されます。
- 4) 電動工具を使用しないときは、子供の手の届かない場所に保管してください。また、電動工具の取り扱いに不慣れな人や取扱説明書の内容を理解していない人には操作させないでください。電動工具を扱い慣れていない人に渡すと、危険です。
 - ◆ 鍵のかかる所に保管してください。
- 5) 電動工具の保守を行ってください。電動工具の動きに影響を及ぼす恐れのある可動部分の心ずれや結合、各部品の損傷やその他の状態をチェックしてください。異常があった場合は使用せず、修理をご依頼く

ださい。

多くの事故は、点検作業を怠ったことが原因となっています。

- 6) 先端工具は鋭利で清潔な状態を保ってください。先端工具を適切に手入れし、鋭利な状態を保っておけば、作業の円滑さを失うことなく、能率よく作業できます。
- 7) 電動工具、付属品、アタッチメント、先端工具などは、作業条件および作業内容を考慮して、それらの取扱説明書に従って、使う電動工具に合うように使用してください。
電動工具を意図した作業と異なる作業に使用すると、危険な状況になることがあります。
 - ◆ 指定されたアクセサリ以外は、取り付けられたとしても安全に作業できない恐れがあります。
- 8) 電動工具は、25℃での使用を前提としていますが、時折、35℃になることも想定しています。

e) コードレス電動工具の使用および手入れ

- 1) 電動工具にバッテリーを挿入する前に、スイッチが“切”になっていることを確認してください。スイッチが“入”になっている状態でバッテリーを差し込むと、事故の原因になります。
- 2) 弊社が指定した充電器だけで再充電してください。バッテリーに適さない充電器を用いると、火災の危険があります。
- 3) 電動工具は、指定された専用のバッテリーのみを使用してください。指定外のバッテリーを使用すると、人的被害および火災をもたらす恐れがあります。
 - ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
- 4) バッテリーを使用しないときは、クリップ、硬貨、鍵、釘、ネジなど、バッテリー端子を短絡させる恐れのある金属物から離してください。バッテリー端子の短絡によって、やけどまたは火災をもたらす恐れがあります。
- 5) 過酷な条件のもとでは、バッテリーから液漏れが発生する場合があります。直接触れないでください。誤って触れた場合は、水で洗い流してください。バッテリーの液が目に入った場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーから漏れた液体は、炎症

ややけどをもたらす恐れがあります。

f) 整備

電動工具の整備は、資格をもつ修理要員が純正の交換部品だけを用いて行ってください。これにより、電動工具の安全性を維持することができます。

- ◆ サービスマン以外の人は電動工具、充電器、バッテリーを分解したり、修理・改造は行わないでください。
- ◆ 電動工具が熱くなったり、異常に気付いたときは、点検・修理に出してください。
- ◆ この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ◆ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。
- ◆ 損傷したり、改造した電動工具やバッテリーを使用すると、予想外の動きをして、電動工具をコントロールできなくなります。

g) その他

- 1) この電動工具は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で使用しないでください。
 - ◆ この電動工具で遊ぶことがないように、子供を監視することが望ましい。
- 2) 電動工具および本取扱説明書に使用されている記号の意味については、「記号について」を参照してください。

安全上のご注意

- ◆ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、ご使用前に、この『安全上のご注意』すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- ◆ お読みになった後は、ご使用になる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- ◆ 他の人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

コードレス電動工具全般についての注意事項

ここでは、コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について説明します。

⚠ 危険

- ボッシュ専用の充電式バッテリー以外を使用しないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー以外は充電しないでください。
- ◆ 改造したバッテリー（分解して、セルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
電動工具の性能や安全性を損なう恐れがあり、けがや故障、発煙、発火などの原因になります。
- バッテリーを火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたりしないでください。
- ◆ 内部で短絡してバッテリーが焼けたり、煙を出したり、破裂、オーバーヒートする危険があります。
- バッテリーの端子部を金属などに接触させないでください。
- ◆ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。
- 電動工具やバッテリーを火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・保管・放置しないでください。
- ◆ 発熱・発火・破裂・バッテリーの液漏れの恐れがあります。
- 専用の充電器以外では、充電しないでください。
- ◆ 他の充電器でバッテリーを充電しないでください。
バッテリーの液漏れや発熱、破裂の恐れがあります。
- バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。
- ◆ 短絡の恐れがあります。
- バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。
また、バッテリー内部に水のような導電体を浸入させないでください。
- ◆ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

- 正しく充電してください。
- ◆ バッテリーは、取扱説明書の指示に従って充電してください。

- ◆ 充電器は、定格表示してある電源で使用してください。直流電源やエンジン発電機では、使用しないでください。
- ◆ 仕様に記載されている推奨充電周囲温度範囲外で、バッテリーを充電しないでください。
- ◆ バッテリーは、換気の良い場所で充電してください。充電中、バッテリーや充電器を布などで覆わないでください。
- ◆ 充電器を使用しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- ◆ 不適切に充電したり、指定された範囲外の温度で充電すると、バッテリーが破損したり、火災が発生したりする恐れがあります。
- 感電に注意してください。
- ◆ めれた手で電源プラグに触れないでください。
- 加工するものをしっかりと固定してください。
- ◆ 加工するものを固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
- ご使用済みのバッテリーは、一般家庭ゴミとして捨てないでください。
捨てられたバッテリーが、ゴミ収集車内などで破壊されてショートし、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
- 充電式でないバッテリー（マンガン乾電池等）は、充電しないでください。
- 作業領域に電線管や水道管、ガス管などが埋設されていないか、適切な探知器で十分確認するか、公益事業者へ連絡をして、助言を求めてください。
- ◆ 埋設物があると、先端工具が触れたとき事故の原因になります。
電気配線との接触は、発火や感電につながる恐れがあります。
ガス配管の損傷は、爆発につながる恐れがあります。
水配管の貫通は、器物破損の原因になります。
- 先端工具が埋設された配線などに接触する恐れがある場合、電動工具の絶縁された握り部を持って作業を行ってください。

- ◆ 絶縁部分を持っていないと、先端工具が通電している配線に接触して、電動工具の金属部に通電した場合、作業者が感電する恐れがあります。
絶縁部分で保持していると、感電する危険が小さくなります。
- 作業中に電動工具の調子が悪くなったり、異常音がしたりしたときは、直ちにスイッチを切ってください。使用を中止し、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼してください。
- ◆ そのまま使用していると、事故の原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたりしたときは、電動工具や先端工具、付属品などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
- ◆ 破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。
- 鉛コーティングしてある作業材料やある種の木材、鉱物や金属への作業から出るホコリやクズなどによっては、健康に悪影響を与えたり、アレルギー反応を引き起こしたりするものがあり、呼吸器の感染症やガンなどの原因となる可能性があります。
- ◆ アスベストを含む材料への作業は、専門知識のある方にのみ許されています。
－できる限り、材料に合った集じん装置を使用してください。
－作業場所の換気に注意してください。
－DS2クラス以上のフィルター付防じんマスクの着用をお勧めします。
作業を行う材料に関して、自国の関連規則を遵守してください。
- フル充電されたバッテリーを複数個続けて使用する作業では、電動工具が冷めるための時間を設けてください。
- ◆ 複数個による連続作業は、電動工具に支障をきたすばかりでなく、電動工具の温度を上昇させて低温やけどをする恐れがあります。
- 損傷したバッテリーを使用したり、不適切な使い方をしたりしないでください。バッテリーから蒸気が発生する場合があります。

蒸気が発生したときは、直ちに周囲を換気し、医者 の 診断を受けてください。

- ◆ 蒸気は呼吸器を刺激する恐れがあります。
- 作業場で粉じんの堆積は避けてください。
- ◆ 容易に発火する恐れがあります。
- 定期的に電動工具の通気口を清掃してください。
- ◆ 通気口にほこりなどが蓄積されると、故障や事故の原因になります。
- 握り部は乾燥させ、油やグリースが付着していない状態を保ってください。
- ◆ 握り部が滑りやすいと、電動工具を確実にコントロールすることができず、けがや事故の原因になります。
- アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用しないでください。
- ◆ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発生させる物質です。
- ◆ アスベスト(石綿)周辺の環境下(除去作業含む)で使用了た電動工具の保守・点検・修理は受け付けできません。
- 安全上のご注意は、必ず守ってください。
- ◆ 電動工具の取り扱いに慣れると、安全の注意事項厳守を怠りがちです。電動工具操作中に、一瞬でも注意力が低下すると、重大なけがをする危険があります。

● 搬送について

内蔵のリチウムイオンバッテリーは危険物法令条件に該当しますが、お客様自身で陸送される場合はそれ以上の制約はありません。第三者が運搬する場合(例えば空輸あるいは代理店経由)、特別な梱包とラベルの明記が必要です。出荷準備をされる際、有害物質取扱いの専門家に相談してください。

▲ 注意

- 先端工具や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
- ◆ 確実にないと外れたりし、けがの原因になります。
- 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
- ◆ 材料や電動工具などを落としたときなど、事故の原因になります。
- 電源プラグやコードが損傷した充電器

や、落としたり何らかの損傷を受けた充電器は使用しないでください。

- 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理については、お買い求めの販売店、またはボッシュ電動工具サービスセンターにお問い合わせください。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

コンクリート釘打機についての注意事項

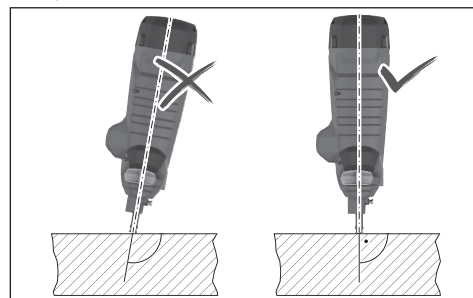
コードレス電動工具全般の『安全上のご注意』について、前項では説明しました。ここでは、コンクリート釘打機をお使いになるうえで、さらに守っていただきたい注意事項について説明します。

⚠警告

- 電気配線を固定するためには、使用しないでください。
- ◆ 電気配線を損傷し、感電や発火の原因になります。
- 非常に柔らかい材料(木材、軽量建築材料など)に使用しないでください。
- ◆ ネイルが材料を貫通し、けがをする恐れがあります。
- 非常に硬い材料(高張力鋼、非常に硬い天然石など)、または圧縮強度の高いコンクリートや圧縮強度の高い骨材に使用しないでください。
- ◆ 材質が硬すぎると、ネイルが壊れて跳ね飛び、作業者や周囲の人に当たり、けがをする恐れがあります。
- ツールノズルを無効にしたり、取り外したままにしないでください。
- ◆ ツールノズルは、不意の作動のけがの危険を軽減するための安全機構です。ツールノズルを無効にしたり取り外したままにすると、誤ってネイルが発射される恐れがあります。
- 電動工具は、ツールノズルが正しく機能している場合にのみ使用してください。
- ◆ ツールノズルに欠陥がある場合、誤ってネイルが発射される恐れがあります。
- 必ず、電動工具の電源プラグを電源コンセントに差し込む前か、電動工具にバッ

テリーを挿入する前に、電動工具のマガジンにネイルを詰めてください。

- ◆ これにより、誤ってネイルが発射されて自分自身や周囲の人を傷つける危険が軽減されます。
- 使用する前に、近くに人や動物がいないことを必ず確認してください。また、使用中は人や動物を近づけないでください。
- ◆ 打ち損じのネイルが当たる恐れがあります。
- 射出口を他人や動物、自分に向けしないでください。
- ◆ 誤って発射したとき、事故の原因になります。
- 壁などの両側から同時に作業しないでください。
- ◆ ネイルが突き抜けたりそれたりすると、けがの原因になります。
- 常に電動工具にはネイルが充てんされているものと想定して取り扱ってください。
- ◆ 電動工具を不用意に取り扱うと、ネイルが発射されてけがをする恐れがあります。
- 材料の表面に汚れないことを確認してください。
- 電動工具が材料にしっかりと配置されるまでは、メインスイッチを操作しないでください。
- ◆ 電動工具が材料に接触していないと、ネイルがターゲットから外れてしまう可能性があります。
- 電動工具は材料に対して垂直に保持してください。材料に対して斜めの状態で保持しないでください。



- 可燃物の近くでは絶対にネイルを打ち込

まないでください。

- ◆ ネイルの種類によっては打ち込み時に接触部から火花が飛び散る場合があります、爆発や火災の恐れがあります。
- ネイルを別のネイルの上に打ち込まないでください。
- ◆ ネイルが曲がったり、電動工具が予期せぬ反応をしたりする恐れがあります。
- 作業中はグリップ部分をしっかりと持って電動工具を確実に保持してください。
- ◆ 電動工具のキックバックが制御されていないと、意図しない発射が発生し、けがの原因になります。
- 作業中は、手や足などの体のすべての部分を電動工具の射出口から遠ざけてください。
- ◆ 遠ざけないとけがの原因になります。
- 作業中は、材料の裏側に手を置かないでください。
- ◆ 置くとかげの原因になります。
- 屋根などで作業するときは、低い側から高い側へ前進してください。
- ◆ 高い側から低い側へ後退しながら作業すると、足を踏み外す恐れがあります。
- 詰まりを取り除くときは、電動工具の電源プラグを電源コンセントから抜くか、電動工具からバッテリーを取り外してください。
- ◆ 詰まりを取り除くとき、電源プラグが差し込まれたままになっていたり、バッテリーが取り付けられたままになっていると、電動工具が誤って作動する恐れがあり危険です。
- 詰まったネイルを取り除くときは注意してください。
- ◆ 詰まったネイルを取り除くとき、ネイルが激しく飛び出す恐れがあります。

△注意

- ネイルは、取扱説明書に指定してあるもの充電してください。
- ネイルは、取扱説明書に従ってセットしてください。
- 作業中は、軍手などの巻き込まれる恐れのある手袋をしないでください。
- ◆ けがの原因になります。

- ネイルの取り扱いに注意してください。
特にマガジンへ充電したり、取り出したりするときは、注意してください。
- ◆ ネイルの先端は鋭利になっており、けがをする恐れがあります。
- 電動工具を使用しないときや、電動工具を持って移動するときは、電源を“切”にし、メインスイッチをロックしてください。
- ◆ 電源を“切”にしないと、けがをする恐れがあります。

本製品について

各部の名称

各部の名称の番号は、冒頭のイラスト内の番号を示しています。

- (1)電源ボタン
- (2)状態表示
- (3)バッテリー残量表示
- (4)リセットボタン
- (5)メインスイッチロック解除スイッチ
- (6)メインスイッチ
- (7)グリップ(絶縁部)
- (8)ユーザーインターフェース
- (9)バッテリー取り外しボタン
- (10)バッテリー(別売品)
- (11)マガジンロック解除レバー
- (12)マガジン
- (13)サポート脚
- (14)マガジンスライダー
- (15)マガジンスライダーボタン
- (16)ツールノズルロック解除ボタン
- (17)ツールノズル
- (18)射出口
- (19)LEDライト
- (20)深さ調節スイッチ
- (21)押し出しピン
- (22)ネイル(別売品)
- (23)ユーティリティフック

標準付属品

モデル名	GNB 18V-38
型番	GNB 18V-38
押し出しピン	1本
ユーティリティフック	1個

仕様

本体

モデル名	GNB 18V-38
型番	GNB 18V-38
定格電圧	D.C.18V
動作モード	発射防止機能付き 単発モード
最大打撃数 ^{*1}	2回/秒
使用可能ネイル 長さ シャンク径	13～38mm 2.7～3.0mm
マガジン容量	22本(1連)
寸法 ^{*2} (長さ×幅×高さ)	405×138× 309mm
質量 ^{*3} バッテリー装着時 ^{*4} バッテリー未装着時	4.4～5.4kg 4.1kg
推奨充電周囲 温度範囲	0℃～+35℃
使用可能周囲 温度範囲 ^{*5}	-5℃～+50℃
保管可能周囲 温度範囲	-20℃～+50℃
原産国	台湾

*1 4Ah以上のバッテリー使用時

*2 バッテリー未装着時

*3 EPTAプロシージャー01/2014に準拠

*4 使用するバッテリーの容量により異なります。

*5 0℃以下の環境では、設計上の十分な能力を発揮できないことがあります。

使用可能ボッシュ充電器

品番	AL 18... ^{*6} GAL 18... GAL 3680CV
----	---

使用可能ボッシュプロ用リチウムイオンバッテリー

品番	A 18... ^{*6} GBA 18V... ProCORE 18V...
----	---

*6 ボッシュプロフェッショナル18Vシリーズに限る

使い方

バッテリーを準備する

☞ 本製品には、バッテリー・充電器は付属されておりません。別途お問い合わせください。

使用可能なバッテリー・充電器の品番は、『ボッシュ電動工具 プロ用製品カタログ』を参照いただくか、弊社コールセンターフリーコールまでお問い合わせください。(フリーコールの番号は、本取扱説明書の裏表紙に記載されています。)

バッテリーを点検する

- バッテリーは弊社指定のものか?
- バッテリーから液漏れが発生していないか?
- バッテリー端子が傷んでいたり、汚れていたりしていないか?
- バッテリーは十分に充電されていて、消耗していないか?

バッテリーを充電する

充電については、充電器に付属されている取扱説明書をお読みにになり、正しく充電してください。

バッテリー残量表示

バッテリー(10)の残量状態を、バッテリー残量表示ランプで確認することができます。

バッテリー残量表示ボタンを押すと、バッテリー残量表示ランプが点灯します。

☞ 安全のため、本体が停止しているときのみ、充電状態を確認することができます。

☞ バッテリー残量表示ボタンを押しても、バッテリー残量表示ランプが1つも点灯・点滅しないときは、バッテリー(10)が損傷しています。

バッテリー(10)を交換してください。

☞ 充電状態は、バッテリー(10)を本体から外していても、確認できます。

☞ 充電状態は、ユーザーインターフェース(8)でも確認できます。
(18ページ「ユーザーインターフェース(8)の表示」参照)

GBA 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色3つ点灯	60～100%
緑色2つ点灯	30～60%
緑色1つ点灯	5～30%
緑色1つ点滅	0～5%

ProCORE 18V...



バッテリー残量表示ランプ	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80～100%
緑色4つ点灯	60～80%
緑色3つ点灯	40～60%
緑色2つ点灯	20～40%
緑色1つ点灯	5～20%
緑色1つ点滅	0～5%

バッテリーを取り付ける・取り外す

⚠警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源ボタン(1)に触れないように注意してください。

⚠注意

◆ バッテリー(10)を取り付けたり取り外したりするときは、必要以上の力を加えないでください。

取り付け

バッテリー(10)を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

☞ 本機は、バッテリー取り外しボタン(9)が押されただけではバッテリー(10)が外れないよう、バッテリー(10)の取り付けが二重ロックになっています。

⚠注意

◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

取り外し

バッテリー取り外しボタン(9)を押しながら、バッテリー(10)を本体から引き抜きます。

☞ バッテリー(10)は、無理に引き抜かないでください。

作業前の準備をする

⚠警告

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、作業前の準備をするときは、必ず本体からバッテリー(10)を取り外してください。

マガジンを取り付ける・取り外す

取り付け

(イラストA参照)

マガジン(12)を本体に挿入し、かみ合わせます。

取り外し

マガジンロック解除レバー(11)を時計方向に上げて保持したまま、マガジン(12)を少し回転させて本体から取り外します。

ネイルを選ぶ

目的の用途に適したネイル(22)を選択してください。

品番	注文番号	材料	長さ (mm)	直径(mm)		材質	色
				線径	頭部径		
NB-16	1 600 A02 F4K	コンクリート	16	2.7	6.25	炭素鋼、 電気亜鉛メッキ	青
NB-19	1 600 A02 F4L		19				
NB-25	1 600 A02 F4M		25				
NB-32	1 600 A02 F4N		32				
NB-38	1 600 A02 F4P		38				
NK-35	1 600 A02 F4R		35				
NM-13	1 600 A02 F4S	鋼鉄	13	3			黒
NM-16	1 600 A02 F4T		16				
NM-19	1 600 A02 F4U		19				

ネイル(ボッシュ純正)を充てんする (イラストB参照)

⚠注意

- ◆ この取扱説明書に記載されているネイル(22)以外は使用しないでください。指定外のネイル(22)を使用すると、本体の損傷やけがの原因になります。
- ◆ ネイル(22)の取り扱いに注意してください。ネイル(22)の先端は鋭利になっており、けがをする恐れがあります。
- ◆ マガジン(12)を扱うときは、射出口(18)が自分や周囲の人に向かないように本体を持ってください。

- ☞ 必要に応じて、マガジン(12)やマガジンスライダー(14)をブラシなどで掃除してください。
- ☞ マガジン(12)内のネイル(22)が2本しか残っていないと、ツールノズル(17)を押し込むことができず、ネイル(22)を打つことができません。ネイル(22)を充てんしてください。

充てんする

1. マガジンスライダーボタン(15)を矢印①の方向に押しながら、マガジンスライダー(14)を矢印②の方向にいっぱいまでスライドさせます。
2. ネイル(22)をイラストの向きでマガジン(12)の開口部に押し込みます。
- ☞ 標準のマガジン(12)には、最大2連のネイル(22)を充てんすることができます。拡張マガジン(別売品)には、最大4連のネイル(22)を充てんすることができます。
3. マガジンスライダーボタン(15)を矢印④の方向に押しながら、マガジンスライダー(14)を矢印⑤の方向にいっぱいまでスライドさせます。

ネイルを取り出す

1. マガジンスライダーボタン(15)を矢印①の方向に押しながら、マガジンスライダー(14)を矢印②の方向にいっぱいまでスライドさせます。
2. ネイル(22)がマガジン(12)から滑り出るように、マガジン(12)を回転させます。

ユーティリティフックを取り付ける

ユーティリティフック(23)を使用すると、本体を適切な箇所に掛けることができます。

⚠注意

- ◆ ユーティリティフック(23)を使用して本体を吊り下げるときは、本体の電源を“切”にしてください。
- ◆ けがや事故、本体の損傷を防ぐため、吊り下げ箇所が歩道や通路、廊下の上、作業領域の近くに設置されていないことを確認してください。
- ◆ ユーティリティフック(23)は、取り付けられた付属品を含む本体を吊り下げることが目的としていません。絶対に、落下防止装置として使用しないでください。
- ◆ ユーティリティフック(23)が損傷したり、変形したりしているとき、または本体に正しく取り付けられていないときは使用しないでください。

1. ユーティリティフック(23)に損傷や変形がないか確認します。
2. ユーティリティフック(23)の爪を本体のフック取り付け部に差し込み、付属のネジで固定します。(イラストE参照)

サポート脚を取り外す

サポート脚(13)を使用すると、平らな表面上で本体を垂直に位置合わせすることが容易になります。

平らでない表面で作業する場合は、サポート脚(13)を取り外すことができます。サポート脚(13)を後方にスライドさせると取り外すことができます。

作業する

電子セル保護システム(ECP機能)

本機には、電子セル保護システム(ECP機能)がついております。

本体が過負荷になった場合や、バッテリーが過放電または作業可能温度範囲外になった場合、バッテリー保護のために本体が自動的に停止します。

上記の状態が解消されると、再始動することができます。

本体が自動で停止した状態でメインスイッチ(6)を引き込み続けると、故障の原因になります。本体が突然停止したときは、作業を一時中断してください。

⚠警告

- ◆ 作業中に振り回されないよう、本体を確実に保持して作業してください。

- ◆ 射出口(18)を他人や動物、自分に向けないでください。
- ◆ 作業中は、手や足など体の全ての部分を射出口(18)から遠ざけてください。
- ◆ 作業中は、材料の裏側に手を置かないでください。
- ◆ 壁などの両側から同時に作業しないでください。

⚠ 注意

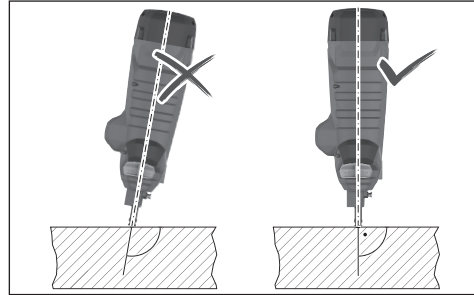
- ◆ ボッシュ純正のネイル以外は使用しないでください。
- ◆ LEDライト(19)点灯中に、LEDライト(19)を直接のぞき込まないでください。一時的に視力に影響を及ぼす場合があります。
- ◆ 射出口(18)にネイル(22)が詰まったときは、直ちにメインスイッチ(6)から、指を離してください。
- ◆ 射出口(18)に詰まったネイル(22)を取り除くときは、バッテリー(10)を取り外してください。
- ◆ 打撃部の摩耗を低減するため、空打ちしないでください。

- ☞ 本体を持ち運ぶときは、電源を“切”にしてください。
- ☞ 本体を持ち運ぶときは、メインスイッチロック解除スイッチ(5)を右から本体側に押し込んでメインスイッチ(6)をロックし、グリップ(7)を持ってください。
- ☞ 本体の損傷を避けてください。次の場合、本体が損傷します。
 - ・打撃または刻印した場合
 - ・本体を改造した場合
 - ・高いところから床に落としたり、床の上を滑らせたりした場合
 - ・ハンマーとして使用した場合
 - ・無理な力を加えた場合

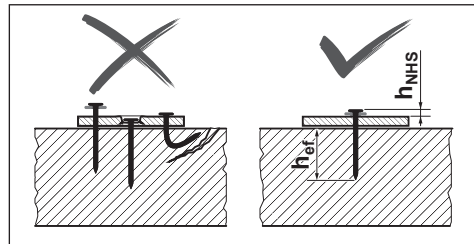
作業の原則

- 作業するときは、ネイル(22)で固定する材料については製造元の指示に従い、施工設計書を参照してください。
- ネイル(22)を打ち込む材料の下または後ろに何があるかを確認してください。壁、天井、または床の後ろに人がいる場合は、絶対にネイル(22)を打たないでください。ネイル(22)が材料を通して他人にけがをさせる恐れがあります。

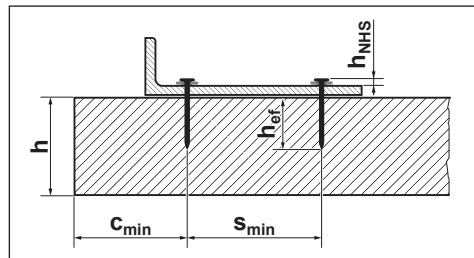
- ネイル(22)は常に垂直な角度で材料に打ち込んでください。



- すでに打ち込まれているネイル(22)の上にネイル(22)を打ち込まないでください。これにより、ネイル(22)が変形したり、ネイル(22)が詰まったり、本体が制御不能になったりする恐れがあります。
- ネイル(22)が正しく打ち込まれているか確認してください。しっかりと固定するには、浮き出たり、沈んだり、曲がったりしないように打ち込んでください。



- 打ち込みに失敗したネイル(22)によってコンクリートが損傷した場合は、定められた規則に従って修理する必要があります。
- 以下の情報は、<http://www.bosch-pt.com>で提供されているBoschネイル関連文書を参照してください。



- ・ネイル頭距離 h_{NHS}
- ・有効アンカー長さ h_{ef}
- ・コンクリート要素の最小厚さ h
- ・最小ネイル間隔 s_{min}

- ・エッジからの最小距離 c_{min}
- ・推奨負荷

[1] 材料の適合性を確認する

1. 材料の表面を確認します。
材料が曲がったり、汚れたりしていないか確認します。
水平で汚れていない材料を使用してください。
2. 材料の硬さを確認します。
ネイル(22)をセンターポンチとして使用し、ハンマーで強く叩いて結果を確認します。
ネイル(22)の先端が鈍くなっている場合、材料がネイル(22)に対して硬すぎます。
ネイル(22)が跳ね返る恐れがあります。
材料に亀裂や破片が発生する場合、材料が脆すぎます。材料の破片が自分や他人に当たる恐れがあります。また、ネイル(22)が材料を完全に貫通する恐れがあります。
材料に小さなへこみが残る場合、材料は作業に適しています。

[2] ネイル(22)を充てんする

適合性を確認した材料に合ったネイル(22)を充てんします。(15ページ「ネイルを充てんする」参照)

[3] 本体にバッテリー(10)を取り付ける

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、電源ボタン(1)に触れないように注意してください。

⚠注意

- ◆ バッテリー(10)を取り付けるときは、必要以上の力を加えないでください。
- ◆ この取扱説明書に記載されているバッテリー(10)以外は、取り付けしないでください。指定外のバッテリー(10)を取り付けると、本体が誤作動したり、損傷したりする恐れがあります。
- ◆ 不意の脱落を防ぐため、確実に固定されているか確認してください。

バッテリー(10)を、本体のバッテリー差し込み口に“カチッ”“カチッ”と2回音がするまで押し込みます。

- ☞ 本機は、バッテリー取り外しボタン(9)が押されただけではバッテリー(10)が外れな

いよう、バッテリー(10)の取り付けが二重ロックになっています。

[4] 電源を“入”にする

ユーザーインターフェース(8)が点灯するまで、電源ボタン(1)を押します。

- ☞ 電源を切るときは、再度電源ボタン(1)を押します。
- ☞ 約30分間何の操作も行わないと、自動的に電源が“切”になります。
電源ボタン(1)を押して再起動してください。

[5] メインスイッチ(6)のロックを解除する (イラストD参照)

メインスイッチロック解除スイッチ(5)を左から本体側に押し込みます。(Dのイラスト参照)

[6] 射出口(18)を材料に当てる

射出口(18)を垂直に材料に当てます。

- ☞ 射出口(18)を材料に当てるときは、慎重に当ててください。柔らかい材料(松材など)の場合、強く当てすぎると材料が損傷する恐れがあります。

[7] ネイル(22)を打つ

ツールノズル(17)が2～3mm押し込まれるまで、本体を材料に押し当て、メインスイッチ(6)を引き込みます。

“バチッ”と音がしたら、メインスイッチ(6)から指を離し、本体を材料から離します。

次のネイル(22)を打つときは、手順[6][7]を繰り返します。

- ☞ メインスイッチ(6)は、ツールノズル(17)を押し込んだ後、2秒以内に引き込む必要があります。2秒以上経過すると、本体はロック状態になり、手順[6]からやり直す必要があります。

- ☞ 射出口(18)には“安全ロック機構”が付いており、ツールノズル(17)を押し込まないとメインスイッチ(6)を引き込んでもネイル(22)が打ち込めないようになっています。

- ☞ メインスイッチ(6)を引き込むと、LEDライト(19)が点灯し、暗い場所で作業するときに、作業領域を照らすことができます。

- ☞ 長時間の休憩をするときや、作業が終了したときは、電源を“切”にし、バッテリー(10)を取り外してください。

可能であれば、マガジン(12)を空にしてく

ださい。

[8] 作業を終了する

(イラストD参照)

メインスイッチロック解除スイッチ(5)を右から本体側に押し込みます。(Eのイラスト参照)

[9] 電源を“切”にする

電源ボタン(1)を押します。

[10] 本体からバッテリー(10)を取り外す

ユーザーインターフェース(8)の表示

状態表示

状態表示	意味/原因	対処方法
緑	異常なし 作業の準備が できている	—
黄	本体の温度が 高温になった	本体が冷めるのを待つ 本体が適正温度になると、再始動することができます
青	本体の温度が 低すぎる	暖かい環境で本体の 温度を調節する 本体が適正温度になると、再始動することができます
赤	ネイル(22)が 詰まった	ネイル(22)を取り 除く(19ページ「詰 まりを取り除く」参 照)
オレンジ	モーターが動 かない	詰まりを取り除く (19ページ「詰まり を取り除く」参照)
青緑	過電流保護 モーターが消 費する電力が 多すぎる	ネイル(22)が詰 まったり、本体が過 度に汚れていない か確認し、原因を 取り除く 詰まりを取り除く (19ページ「詰まり を取り除く」参照) エラーが解決しな い場合は、ボッシュ 電動工具サービス センターにお問い合わせ

赤紫 (3秒後 に緑)	エラー率が高 すぎる (例：ネイル (22)が曲がっ たり、適正な深 さで打ち込め ない)	ボッシュ電動工具 サービスセンター にお問い合わせく ださい
白	本体が故障し ている	ボッシュ電動工具 サービスセンター に点検・修理を依 頼する

バッテリー残量表示(3)

バッテリー残量表示	バッテリー残量
緑色5つ点灯	80～100%
緑色4つ点灯	60～80%
緑色3つ点灯	40～60%
緑色2つ点灯	20～40%
緑色1つ点灯	5～20%
緑色1つ点滅	0～5%

打ち込み深さを調節する

⚠注意

◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、打ち込み深さを調節するときは、必ず本体からバッテリー(10)を取り外してください。

ネイル頭距離 h_{NHS} が適正值になるように、深さ調節スイッチ(20)で調節します。

ネイル(22)が深く入りすぎる：
深さ調節スイッチ(20)を右(E側)にスライドさせます。

調節してもネイル(22)が深く打ち込まれ過ぎるときは、長めのネイル(22)を使用してください。

ネイル(22)が浮きすぎる：
深さ調節スイッチ(20)を左(F側)にスライドさせます。

調節してもネイル(22)が十分に打ち込まれないときは、短めのネイル(22)を使用してください。

ツールノズルを掃除/交換する

(イラストC参照)

マガジン内のネイルが3本以上残っているのにツールノズル(17)が押し込めない、または押し込まれたまま元の位置に戻らない場合は、ツールノズル(17)が異物や汚れで詰まっ

ている恐れがあります。
ツールノズル(17)を掃除してください。
また、ツールノズル(17)が損傷している場合は交換してください。

1. 本体からバッテリー(10)を取り外します。
2. 本体からマガジン(12)を取り外します。
3. ツールノズルロック解除ボタン(16)を矢印①の方向に引いて保持します。
4. 本体からツールノズル(17)を引き抜きます。
5. ツールノズルロック解除ボタン(16)を離します。
6. ツールノズル(17)を掃除するときは、ブラシなどで汚れを取り除きます。
7. 掃除したツールノズル(17)、または新しいツールノズル(17)を、本体にかみ合うまで押し込みます。

詰まりを取り除く

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、詰まりを取り除くときは、必ず本体からバッテリー(10)を取り外してください。

ユーザーインターフェース(8)の状態表示(2)が赤またはオレンジに点灯したり、ネイル(22)が正しく打ち込まれなくなった場合は、詰まりを取り除いてください。

1. 本体からバッテリー(10)を取り外します。
2. マガジン(12)を空にします。
(15ページ「ネイルを充電する」の“ネイルを取り出す”参照)
3. 本体からマガジン(12)を取り外します。
(14ページ「マガジンを取り付ける・取り外す」の“取り外し”参照)
4. 本体からツールノズル(17)を取り外します。
(18ページ「ツールノズルを掃除/交換する」参照)
5. マガジン(12)を確認し、汚れや残留物、異物を取り除きます。
6. ツールノズル(17)を確認し、ネイル(22)やネイルの破片、残留物、異物を押し出しピン(21)で取り除きます。
7. ツールノズル(17)を傷つけないように注意してください。
7. 本体にツールノズル(17)を取り付けます。
(18ページ「ツールノズルを掃除/交換する」参照)

8. マガジンスライダーボタン(15)を押しながら、マガジンスライダー(14)を開口部に向かってスライドさせます。
 9. 本体にマガジン(12)を取り付けます。
(14ページ「マガジンを取り付ける・取り外す」の“取り付け”参照)
 10. 本体にバッテリー(10)を取り付けます。
 11. ユーザーインターフェース(8)が点灯するまで電源ボタン(1)を押して、電源を“入”にします。
 12. リセットボタン(4)を5秒間押します。
 13. 木のブロックなどにツールノズル(17)を押し付け、メインスイッチ(6)を引き込みます。
これにより、モーターがネイル(22)を正しい位置に移動できるようになります。
- 別のエラーが検出された場合、本体は通常の動作に戻りません。状態表示(2)にエラーが表示されます。

バッテリーを長持ちさせるために

- ◆ 長時間(6か月以上)使用しない場合は、満充電にしてから保管してください。
- ◆ 満充電にしたバッテリーを、再度充電しないでください。
- ◆ 工具の力が弱くなってきたと感じた場合は、使用を中止し、充電してください。

リサイクルのために

使用済みバッテリーのリサイクルにご協力ください

ボッシュは一般社団法人JBRCに加盟し、使用済みコードレス電動工具用バッテリーのリサイクルを推進しております。
恐れ入りますが使用済みのバッテリーは、ボッシュ電動工具取扱店、ボッシュ電動工具サービスセンター、またはJBRCリサイクル協力店へお持ちくださいますようお願いいたします。



<http://www.jbrc.com/>



Li-ion

本製品は、リチウムイオンバッテリーを使用しています。リチウムイオンバッテリーは、リサイクル可能な貴重な資源です。使用済みバッテリーのリサイクル活動にご協力くださいますよう、お願いいたします。

ご使用済みのリチウムイオンバッテリーは、本体から取り外し、ショート防止のためバッテリー端子部に絶縁テープを貼ってお出ください。

お手入れと保管

⚠警告

- ◆ 不意の作動によるけがの発生を防ぐため、バッテリー(10)を本体から取り外して、お手入れしてください。

クリーニング

通風口や射出口(18)などに付いたホコリを吹き飛ばす

- ☞ 本体にホコリがたまると故障の原因になります。

バッテリー取り外しボタン(9)やバッテリー装着部分に付いたゴミ、ホコリを吹き飛ばす

乾いた、柔らかい布で本体の汚れをふき取る

- ☞ 変色の原因になるベンジンなど、溶剤を使わないでください。

必要に応じて、ツールノズル(17)を掃除する

- ☞ 18ページ「ツールノズルを掃除/交換する」を参照して、ツールノズル(17)を取り外し、ブラシなどで掃除してください。

保管

使った後は、バッテリー(10)を取り外し、きちんと保管する

- 子供の手が届くところ、または錠が掛からないところに置かない。
- 風雨にさらされたり、湿度の高いところに

置かない。

- 直射日光が当たったり、車中など高温になるとところに置かない。特に、50℃以上になるとところに置かない。
- バッテリーは、-20℃～+50℃の範囲で保管する。
- ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かない。
- ショートを防ぐため、バッテリー端子に絶縁テープを貼る。

廃棄について

バッテリー以外の本体および付属品の廃棄については、各地域自治体にその方法を確認し、正しく廃棄してください。

困ったときは

故障かな?と思ったら

- ① 『取扱説明書』を読み直し、使い方に誤りがないか確かめてください。
- ② 充電については、『充電器の取扱説明書』を読み直してください。
- ③ 次の代表的な症状が当てはまるかどうか確かめてください。

本体が作動しない

原因	対処
バッテリー(10)が取り付けられていない	バッテリー(10)を取り付ける
バッテリー(10)が消耗している	バッテリー(10)を充電するか交換する
バッテリー(10)の温度が最適温度範囲外になっている	バッテリー(10)が最適温度範囲内になるまで待つ、交換する
本体の温度が作業可能温度範囲外になっている	作業可能温度範囲内になるまで待つ
電源が“入”になっていない	電源ボタン(1)を押して、電源を“入”にする

メインスイッチ(6)が引き込めない

原因	対処
マガジン(12)に残っているネイル(22)が2本以下	ネイル(22)を充てんする

原因	対処
メインスイッチ(6)がロックされている	メインスイッチロック解除スイッチ(5)の左側を押し込んで、ロックを解除する(イラストD参照)
正しい手順で作業していない	15ページ「作業する」の手順[6][7]参照

ネイル(22)が深く打ち込めない

原因	対処
深さ調節スイッチ(20)が正しく設定されていない	深さ調節スイッチ(20)を左(U側)にスライドさせる
ネイル(22)が長すぎる	短いネイル(22)を使用する 有効アンカー長さ h_{ef} を守る
材料が硬すぎる	別の固定方法を使用する

ネイル(22)が深く入りすぎる

原因	対処
深さ調節スイッチ(20)が正しく設定されていない	深さ調節スイッチ(20)を右(D側)にスライドさせる
ネイル(22)が短すぎる	長いネイル(22)を使用する 有効アンカー長さ h_{ef} を守る
材料が柔らかすぎる	別の固定方法を使用する

ネイル(22)が曲がりたり折れたりする

原因	対処
本体が材料に対して垂直に当てられていない	材料に対して本体を垂直に当てる 素材の表面が平らな場合は、サポート脚(13)を使用して位置を合わせる
ネイル(22)が長すぎる	短いネイル(22)を使用する 有効アンカー長さ h_{ef} を守る

原因	対処
材料が硬すぎる	固い介在物を含むコンクリートの場合は、別の場所で固定してみる それ以外の場合は、別の固定方法を使用する

ネイル(22)が鋼材に引っ掛からない

原因	対処
材料が薄すぎる	別の固定方法を使用する

ネイル(22)がツールノズル(17)に詰まっている、またはツールノズル(17)が押し込まれた位置に残っている

原因	対処
異物や汚れなどによるツールノズル(17)の詰まり	詰まりを取り除く(19ページ「詰まりを取り除く」参照)

エラー率が高すぎる

原因	対処
材料が薄すぎる	別の固定方法を使用する
撃針が摩耗している	ボッシュ電動工具サービスセンターに点検・修理を依頼する

ネイル(22)がマガジン(12)に挿入できない

原因	対処
マガジン(12)が汚れている	マガジン(12)をブラシなどで掃除する

修理を依頼するときは

- ◆『故障かな?と思ったら』を読んでもご不明な点があるときは、お買い求めの販売店または弊社コールセンターフリーコールまでお尋ねください。
- ◆修理を依頼されるときは、お買い求めの販売店またはボッシュ電動工具サービスセンターにご相談ください。
- ◆この製品は厳重な品質管理体制の下に製造されています。万一、本取扱説明書に書かれたとおり正しくお使いいただいたにもかかわらず、不具合(消耗部品を除きます)が発生した場合は、お買い求めの販売店または、ボッシュ電動工具サービスセンターまでご連絡ください。

弊社で現品を点検・調査のうえ、対処させていただきます。お客様のご使用状況によって、修理費用を申し受ける場合があります。あらかじめご了承ください。

コールセンターフリーコール

0120-345-762

土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30

※携帯電話からお掛けのお客様は、

TEL.03-5485-6161をご利用ください。

コールセンターフリーコールのご利用はできませんのでご了承ください。

ボッシュ株式会社ホームページ

<http://www.bosch.co.jp>

ボッシュ電動工具サービスセンター

〒355-0813

埼玉県比企郡滑川町月輪1464番地4

TEL 0493-56-5030

FAX 0493-56-5032

ボッシュ電動工具サービスセンター西日本

〒811-0104

福岡県糟屋郡新宮町の野741-1

TEL 092-963-3486

FAX 092-963-3407

保証サービスについて

プロ用電動工具・メジャーリング ツール保証サービス『PRO360』の ご案内

2022年10月より、弊社ホームページからユーザー登録をいただいたお客様を対象に、購入日より2年間の保証サービスを実施させていただきます。

保証サービスの詳細および登録に関しては、弊社ホームページまたは下記URLでご確認ください。

<https://www.bosch-professional.jp/jp/ja/service/>

**ボッシュ株式会社 電動工具事業部**

ホームページ:<http://www.bosch.co.jp>
〒150-8360 東京都渋谷区渋谷3-6-7

コールセンターフリーコール**0120-345-762**

(土・日・祝日を除く、午前9:00～午後5:30)

*携帯電話からお掛けのお客様は、TEL.03-5485-6161
をご利用ください。コールセンターフリーコールのご利用
はできませんのでご了承ください。

1 609 92A 94E (2023.12)**1 609 92A 94E**

- 本取扱説明書に記載されている、日本仕様の能力・型番などは、外国語の印刷物とは異なる場合があります。
- 本製品は改良のため、予告なく仕様等を変更する場合があります。
- 製品のカタログ請求、その他ご不明な点がありましたら、お買い求めになった販売店または弊社までお問い合わせください。